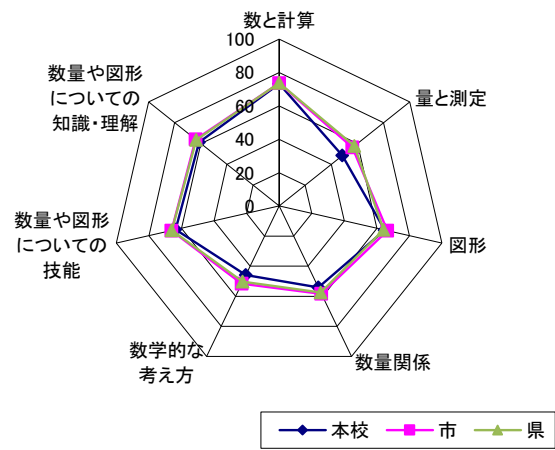


宇都宮市立横川西小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	73.2	73.6	73.7
	量と測定	48.5	56.2	57.7
	図形	64.9	66.5	64.2
	数量関係	54.1	58.4	57.5
観点	数学的な考え方	45.9	51.7	50.3
	数量や図形についての技能	63.6	66.1	65.9
	数量や図形についての知識・理解	61.3	64.0	63.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数の問題による平均正答率は高く、市と県の平均を上回った。	・基礎基本の定着に向けて、朝の学習による百ます計算や計算のきまりの復習を充実させていく。 ・計算ドリルの反復練習や自主学習における計算練習と見直し、自己採点を取り入れることで計算に対する苦手意識を取り除けるようにする。
量と測定	○億と兆・概数の表し方の平均正答率は高く、市と県の平均を上回った。 ●平均正答率は、他の領域と比べて低かった。	・小数、分数の仕組みを正確に理解できるように数の仕組みの復習を取り入れる。 ・四捨五入による数の処理について、指定された位の概数にするためにはどの位を四捨五入すればよいのか丁寧に指導する。
図形	○平均正答率は、他の領域に比べて高かった。 ●面積を求める公式の習熟や角の大きさの関係や平行垂直との関係に関して課題が見られる。	・面積を求める公式のでき方を再度確認し、なぜそのような公式になったのか丁寧に指導し、反復練習を行うことで習熟を図る。 ・平行な直線や垂直な直線に係る直線によって同位角や錯角のできる特徴を理解させる。また、半円が180度など覚えておかなくてはならない事項の確認もする。
数量関係	●折れ線グラフや表から二つの数量の関係を見つけることや変化の特徴を見つけることに課題が見られる。	・グラフの縦軸、横軸が何を表しているのかどこを確認すれば理解できるのかを丁寧に指導する。 ・1目盛りがいくつを表すのか確認することや、どんな特徴があるグラフなのかを考えることを段階的に指導する。